

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス真愛 南大分		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 15日		2026年 2月 1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	2026年 1月 15日		2026年 2月 1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 24日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	適切な支援の提供ができる	個々に必要な支援について、指導員のミーティングを行い議事録に残し、出席できなかった指導員との情報共有に努めている。また、支援が必要な個別の課題については当事業所独自の「個別支援シート」を使用して、課題解決のための情報を蓄積し、一つの事象について深く掘り下げて検討することを行っている。	これまでと同様に、個々の利用者が抱える課題については、事実に着目し指導員の思い込みや、世の中の常識にとらわれずことなく率直に話し合いを重ねていく機会を大切にしている。
2	幅広い活動プログラムを持っている	5領域を念頭に、利用者の困りごとを解決に導く活動テーマを設定していること。また、支援を継続的に続けることを大切にすため、利用者が「来て楽しい」「また行きたい」と思えるように脱マンネリを図り、随所に新しいプログラムを加えている。	R8年度には、これまでの活動プログラムに加え、中高校生を対象に、就労移行支援につながる活動プログラムを計画中である。A型、B型での就労を希望する利用者が無理なく生活のスキルを獲得できるようにしていく。
3	保護者との良い関係性を築けている	利用者の支援についてはモニタリング、アセスメント、計画説明等での面談だけでなく、その日の活動の中での気づきを連絡ノートやデイ日誌を利用することももちろん、送迎時に直接お声掛けをするなどして随時お知らせできるようにしている。また保護者の抱える悩み等についても、遠慮なくご相談いただける体制を取っている。	これからも、保護者様、学校としっかりと綿密に連携を取ることで、利用者の成長に寄り添うとともに、保護者様ご家族様の支援に当たっていききたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	第三者による外部評価を行っていない	放デイの支援の質の向上、事業所の課題、それに対する解決策等を明確にするために第三者による評価を受審することに意義はあると思うが、現状では差し迫った必要性を感じていないこと。	引き続き検討を重ねていく
2	関係機関、地域との連携等を行っていない	保護者様からのニーズがないこと。 利用している子どもたちはそれぞれに障害の特性があり、利用者が望まない状況で地域の学童保育または児童館等と交流することは難しいと考える。	当面は、他者との関りを生活の中で学んでもらう機会を設け活動に取り入れる。(お買い物体験や公共交通機関の利用体験等) また、地域で行われる体験型イベント等では主催者側に理解をしていただける環境を整えたいと、できるだけ参加していきたいと考えている。
3	保護者会等を行っていない	アセスメント、モニタリング、計画説明等において個別にお話を伺う機会を持っているが、この上さらに保護者会などの開催に時間を割いていただくと、保護者様のご負担が大きくなるのではないかと躊躇している。	現在のところ保護者様からのご要望は出ていないが、保護者様からの要望があれば速やかに計画していきたいと考えている。